

公開講座④

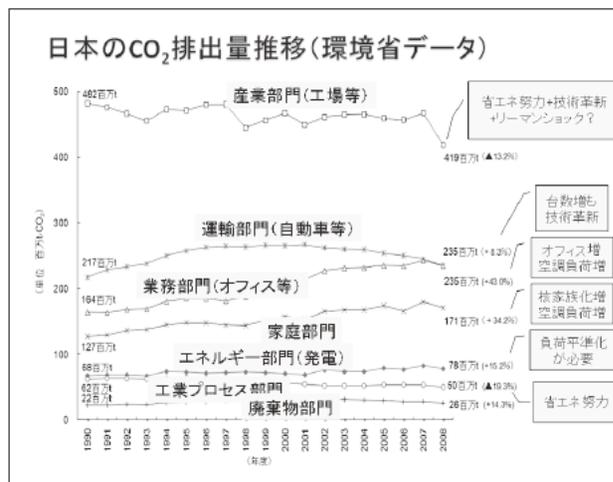
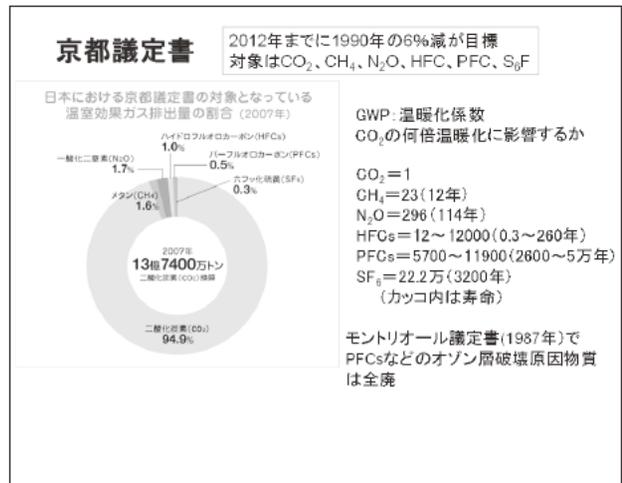
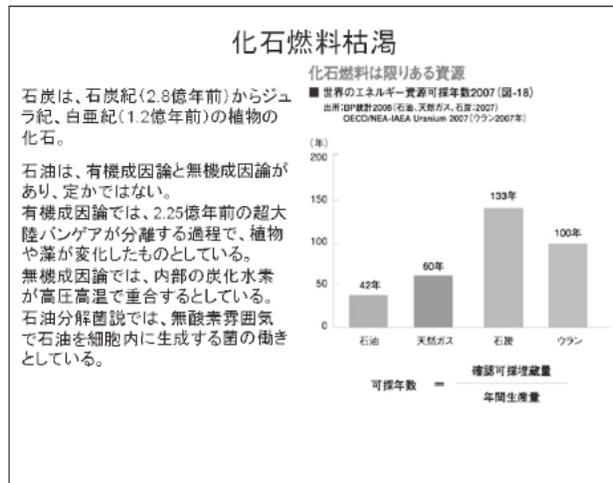
省エネルギーの必要性と地域未利用エネルギー

野田英彦*

人類のエネルギー利用の歴史と化石燃料枯渇の状況を紹介しました。また、地球温暖化問題に対応する京都議定書を紹介し、それに伴う近年の国内CO₂排出量推移のデータから、省エネルギーが必要であることを示しま

した。

次に、利用可能な再生エネルギーを紹介し、利用方法を示すとともに、地域にある未利用エネルギーを紹介しました。



- ### 地域で利用可能なエネルギー
1. 太陽光 → 太陽光発電、温室
 2. 太陽熱 → 給湯、暖房、太陽熱発電
 3. 風力 → 風力発電
 4. 地熱 → 温泉、融雪、冷暖房、地熱発電
 5. 雪氷熱 → 雪室、冷房、空気清浄機
 6. バイオマス → 発電、熱利用
 7. 工場廃熱 → 熱利用

平成 24 年 2 月 29 日 受理

* 機械情報技術学科・教授

太陽光発電量地域マップ

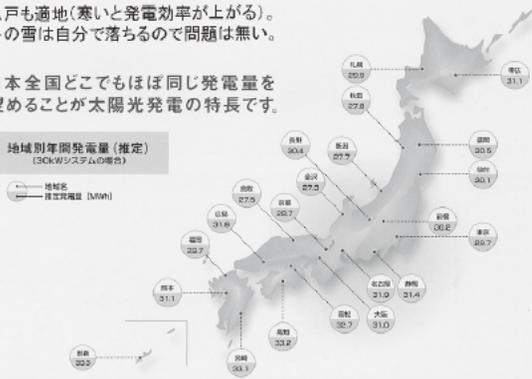
八戸も適地(寒いと発電効率上がる)。冬の雪は自分で落ちるので問題は無い。

日本全国どこでもほぼ同じ発電量を望めることが太陽光発電の特長です。

地域別年間発電量(推定)

(30kWシステムの場合)

● 地域別
○ 設置可能量 (MW)



太陽熱温水器

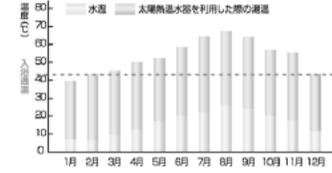


給湯床暖システム

真空ガラス管型

自然循環型

■太陽熱温水器の月別平均湯温 ※条件: 気候20℃(暖房停止) (東京) 14時頃



凍結しないところでは効果的。

東北地域では冬季の凍結が問題で、水を媒体に使うのが難しい。

太陽熱発電(タワー集光型)

基本的な手法

集光して高温の媒体作製 → 熱交換して水を蒸発 → タービンを回して発電

利点: 太陽光発電に比べ、安価で、保守が容易。熱利用も可能。

欠点: 安定出力のためには蓄熱が助熱が必要。まとまった土地が必要。

歴史: 乾燥した未利用の広大な土地がある国(米、豪、中、サウジ、等)で有利。



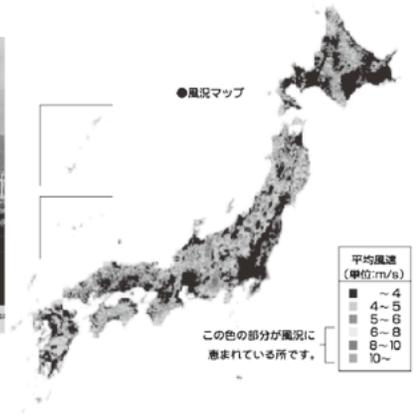
スペインのセビリア 2011年に商用運転開始
19.9MW発電し25千世帯に供給
185haに2650枚の反射鏡(120m²/枚)
タワー中央集光器温度は900℃以上
放射の95%吸収して熔融塩を加熱し熱交換
して蒸気を製造して蒸気サイクル発電
熔融塩で蓄熱可能で24時間稼働

大規模化すると、タワー高さが高くなり、コスト高
反射鏡は太陽追尾(ヘリオスタット)が必要

六ヶ所の風力発電



エコパワー (株) 北沢風車ファーム 青森
2000 1500kW×2

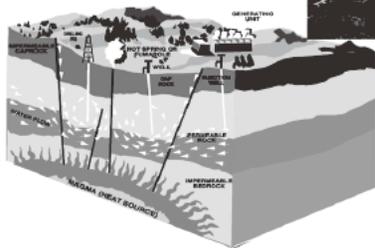


この色の部分が風況に
恵まれている所です。

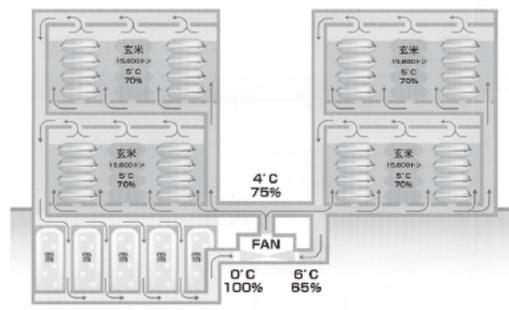
地熱

地熱発電

ドライスチーム(松川地熱発電所)
フラッシュサイクル(八丁原発電所)
バイナリーサイクル

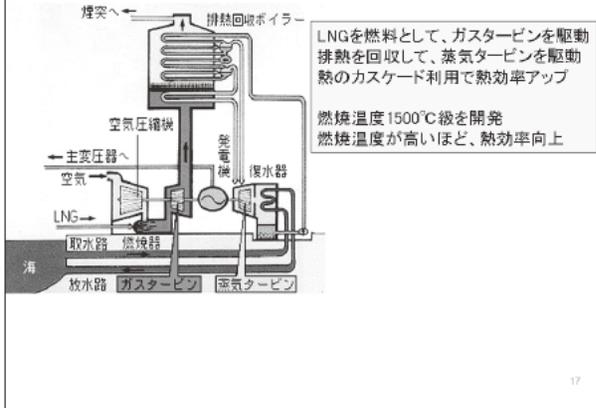


雪室の利用方法



零温穀物貯蔵システム 貯蔵庫貯雪槽一体型2階建

コンバインドサイクル発電(廃熱利用)



地域未利用熱(太平洋金属)



電気炉から出るスラグは、1500°C程度で流出し、曝露で冷却されている。年間160万ton出る。スラグ冷却に600ton/hの水を使用。その結果地下浸透して温泉となっている。

固化してもボツパーでは800~1200°C

非常に高品質な熱だが、ハンドリングが難しく、利用されている例は世界中無い。

地域未利用熱(LNG基地)

LNGの特徴

- ・沸点-161.5°C
- ・液体状態でタンクに保管
- ・加熱して(通常は海水と熱交換)ガス化して供給

冷熱は利用しやすい



日本で初めて LNG を受入した 1964 年 根岸 LNG 基地の例(隣接プラントへの供給)

東京電力南横浜火力(LNG発電プラント)
60万ton/年のLNGを供給で115万KW発電
東京炭酸
液化炭酸ガス、ドライアイス製造
東京液化酸素
液化酸素、窒素
日本超低温
超低温冷凍庫(冷凍マグロ保存)
所内動力用にLNG冷熱発電
(海水の熱で発電)

おわりに

省エネルギーは、必要不可欠。

現在の利便性を維持して、省エネルギーを行うには、未利用エネルギーの有効利用が必要。しかし、採算が合わないシステムの導入は難しい。

智慧を出して、省エネルギー、省コストを行い、貴重な化石燃料の消費を抑制し、環境を保全しましょう。

ご清聴、有難うございました。

八戸工業大学 野田英彦